

『体験と交流を通して豊かな心を育む』

あま市立甚目寺西小学校

## 1 目的

校訓「明るく やりぬく たくましい子」のもと、様々な人との交流を通して、互いを思いやることの大切さや知る喜びを実感させたいと考えました。併せて、コミュニケーション能力の向上や、人との関わり方を学ぶ場を設定しました。

## 2 内容

### (1) 体験と交流を通して

#### ア 異学年交流活動

ペア学年活動をはじめとする交流活動は10年目を迎えました。高学年と低学年のペアで、遊びや読み聞かせなどの活動を児童が主体となって行っており、学年を越えた温かな関わり場の場となっています。

5年生は、図画工作で作成したパズルで2年生と交流しました。時折ヒントもらいながらパズルを完成させた2年生は、5年生の拍手にうれしそうな表情を見せていました。相手への思いやりの気持ちや自己肯定感が高まる活動となりました。



【2・5年生の交流】

#### イ にしっこタイム

「自他のよさを認め合える人間関係の形成」「安心して過ごせる教室づくり」をねらいとし、全校で「にしっこタイム」と名付けた対話トレーニングを行っています。実施を始めて4年目となる今年、職員が講師となって校内研修を行い、どの学級においてもより効果的に実施できるよう、改めて学び直しました。



【1年生のにしっこタイム】

#### ウ 防災教室

防災ネットの皆さんを講師にお招きして、1・3・5年生が防災について学びました。1年生は地震が起きたときに身を守る方法や、非常時のために用意しておく物についてのお話を聞きました。3年生は、新聞紙でスリッパを作りました。思ったより丈夫なことに気づき、驚く子もいました。5年生は、毛布を利用した担架作りを実践しました。真剣に話を聞く姿が見られ、防災について考える機会の大切さを感じました。

## エ 国際交流活動

アメリカ・マロニー小学校との交流活動は10年目となりました。今年はマロニー小から日本語や英語で書かれた楽しいNew year&自己紹介のカードが届き、うれしそうに眺める児童の姿が見られました。3月には4年生児童が日本をテーマにした絵手紙を送付する予定です。

## オ ハッピートーク

自分も相手も笑顔になれる“良い言葉の選び方、使い方”について学びます。今年度は2月に実施予定です。

## (2) 教師力アッププロジェクト

### ア QU研修

QUアンケートは、児童理解を深めるために実施しています。研修では、アンケート結果をより詳細に読みとり、学級集団の特性や、個々の児童の心の状態について分析しました。その後、学級でどのような働きかけをしていくのがよいかを考え、職員で話し合いの時間をもちました。

### イ 児童理解研修

劇団風の子中部の西川さんを講師にお招きして、低学年から高学年まで一緒に楽しめるさまざまな「遊び」を体験しました。「遊び」の中には、コミュニケーション、関わり方、主体性など、児童にとって大切なことがたくさん詰まっていることを体感し、児童にとっての遊びの大切さについて学びを深めました。翌日から、さっそく学級で遊びを楽しむ姿も見られました。



【「遊び」の研修】

### ウ 合唱指導

講師の堀田先生による合唱指導を、1・3・5年生で実施しました。腹式発声の練習方法や、児童が楽しみながら進んで歌う工夫は職員にとっても学びでした。

## 3 評価

心の交流や人間関係を築く力の育成を中心に、活動を実施しました。

特に「にしっこタイム」は導入してから数年が経ったこともあり、職員自身がもう一度新たに学び直す機会を得ました。「どの学年でも、どの先生でも同じように実施ができるように」と目標をもち、活動を継続していきます。

## 4 課題

異学年交流活動など、他学年と関わる活動の中で児童の成長を感じる機会が多かったです。交流のもち方や内容など、計画から実施に向けては学年間で話し合う時間も必要となるため、年間計画の中に位置づけ、計画的に実施する必要があると感じました。